

## 社会福祉の良心

Jane Addamsの思想と生涯

同志社大学  
木原活信

## 良心とは何か①

- Conscience con+science
- コンスキエンティア conscientia ラテン語
- スーネイデシス συνειδήσις (ギリシャ)  
⇒「共に知る」  
誰と?・・・他者 or 神(超越者) or 自分  
一般的には、「善なる心 善に基づいてふるまうこと」「何が善であり悪であるかを知らせ、善を命じ悪をしりぞける個人の道德意識」(広辞苑)

## 良心とは何か②

- 日本の良心: 孟子の「良知良能」の観念
- 中村正直 スマイルズの翻訳
  - 例) 良心の呵責 日本の場合、やってしまった失敗、間違いへの内省として生じる
  - 哲学: ソクラテス「ダイモニオンの声」  
カント「私の内にある道德法則」
  - 欧米のほうが内面的、人格的
  - 自問自答 もう一人の自分 とともに

## 良心とは何か③

- 個人的なるものと、社会的なるもの
- 社会のなかのマイノリティの文脈で発露されるもの
- Compassionとの関連 社会問題への眼差し
- 例) 社会福祉従事者の数: 日本の中かのキリスト教、アメリカの中かのユダヤ教

## 良心を語る私の物語

- 良心は客観的に対象化されるものなのか?
- 語りにくいもの 気恥ずかしさ 愛と正義
- 良心を語る、主体である「私」は隠れることができるのか? ⇒ 良心を語る私は、あらゆる事象から自由であるのか?
- 「私」語り 私の原点
- ⇒ <http://www.geocities.jp/kihara0918/>
- ⇒ <http://joe0918.blogspot.jp/>

## キリスト教と良心

果たしてそれは連続線にあるものなのか?

- 「キリスト教は人間の良心に対して積極的な価値を付与しません。良心は、人間の内部の力によって担保されているわけではありません。あくまでも外部からの、神の啓示によって人間の良心が呼び出されるのです。神からの召命を抜きに人間の良心は成立しません。」 佐藤優氏の言説
- 聖書のなかの「良心」 30回記載  
「きよい良心」使徒23章1節; 使徒24章16  
「邪悪な良心」ヘブル10章21節; ヘブル9章14節  
きよめられる必要がある  
「弱い良心」I コリント8章7節 I コリント9章28節、29節

## キリスト教と良心

### カトリックとプロテスタントでは？①

- カトリック「良心は人間の最奥であり聖所であって、そこでは人間はただひとり神とともにあり、神の声が人間の深奥で響く。」(「現代世界憲章」16)
- 「良心の声は神からの心の声である」(第2バチカン公会議1962年-1965年)
- 「良心とは、本来的に言えば、能力ではなくしてはたらきである。」アクイナス 『神学大全』大鹿一正訳、188頁。
- 良心は「能力」ではなく、「魂の最奥に根ざしている、調和に向けての内なる設定」<sup>B</sup>。ヘーリング『キリストの旋 I』渡辺 秀他訳、181頁。

## キリスト教と良心

### カトリックとプロテスタントでは？②

#### プロテスタントの場合

近代の個の誕生、自我から強調された

聖霊(Holy Spirit)との関連は？内在する霊 超越した存在(神)との関係

祈りの姿勢 私と超越者(神)

ルターと良心 宗教裁判のときの言動

カルヴァニズムと良心原罪と「良心」の存在への疑い(例外的)クエーカー教徒と良心

- cf フロイトと良心

## 社会福祉の良心 欧米の場合

- 福祉実践行動の原動力、起爆剤となる「良きサマリア人」スピリッツ ⇒ 欧米福祉の源流 “キリスト教的良心” 主流派でなく、組織力もないときに生じる ウェスレーと国教会 救世軍と国教会 ミュラーと国教会 クエーカーと国教会 Jane Addamsの例 ⇒ 以下詳細

## 社会福祉の良心 日本の場合

- 日本の場合 欧米キリスト教の影響
- 同志社「社会福祉」派or「良心派」の系譜 新島襄⇒山室軍平、留岡幸助、石井十次、牧野虎次、賀川豊彦、中村遥、竹中勝男、竹内愛二、嶋田啓一郎、金徳俊 当時の時代の状況との関係

### 善きサマリア人のたとえ ルカ10章25節から36節

10:25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスをためそうとして言った。「先生。何をしたら永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」26 イエスは言われた。「律法には、何と書いてありますか。あなたはどうか読んでいますか。」27 すると彼は答えて言った。「『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』とあります。」28 イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」29 しかし彼は、自分の正しさを示そうとしてイエスに言った。「では、私の隣人とは、だれのことですか。」

### 続き

10:30 イエスは答えて言われた。「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎとり、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。31 たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。10:32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。33 ところが、あるサマリア人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、

### 続き

34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。35 次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』<sup>36</sup> この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。」<sup>37</sup> 彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」

### 注釈

- 律法学者、パリサイ派
- 祭司、レビ人
- サマリア人
- あわれみ スプラクニズマイ compassion

### 考察

社会福祉実践活動をする際のモチベーション、原動力として働くことがしばしばある。  
•それは、社会問題(通常、これを社会悪)とみなして、それを見て、見ぬふりができないというような状況にあって、それを改善するために立ち上がるような行動様式である。社会福祉実践者(ソーシャルワーカーや社会事業家)では、ここに共通の型がみられる。特にある事業の先駆者とされる人たちの共通のパターンである。

### 良きサマリア人類型の福祉事業家

- 石井十次 孤児、捨てられた子供たち
- 留岡幸助 犯罪者、非行少年たち
- 山室軍平 貧困者、売春婦
- 賀川豊彦 スラム街での抑圧された人たち
- ジェーン・アダムズ
- ジョージ・ミュラー 救貧法下の孤児
- ウイリアム・テューク 心病める友
- ドロシア・ディックス (Dix, Dorothea) 精神病院

### ジェーン・アダムズって誰？

ソーシャルワーカーの母  
社会福祉の良心  
社会福祉のセツルメント運動のリーダー  
ハル・ハウス創設者  
女性運動、平和運動  
ノーベル平和賞受賞

### Addamsの肖像、Hull-Houseの絵

• Jane 晩年



## 現在のHull-House



## J.Addamsの略年表

- 1860 イリノイ州に生まれる
- 1877 ロックフォード女子大学入学 1881年卒業
- その後、医学部入学、父の死、背中への手術
- 「人生の漂流時代」「モラトリアム」「精神的苦悩時代」
- 1888 Toynbee Hall訪問
- 1889 Ellen Gates Starr と一緒にHull-House開設
- 1909 National Conference of Charities and Corrections (後のNCSSW)会長
- 1910 Twenty Years at Hull-House を刊行
- 1917 アメリカ参戦に反対声明
- 1919 Women's International League for Peace and Freedom創設(1919-29会長)
- 1923 日本訪問
- 1931 ノーベル平和賞受賞
- 1935 シカゴで死去 社会保障法成立

## Jane Addams 概略(1)

ジェーン・アダムスは、政治家(上院議員)であり、銀行、製粉業の経営者であったジョン・アダムス(John Addams)の娘として1860年にイリノイ州に生まれた。この父であるジョンは、リンカーンの親友であり、ヒックサイト派のクエーカー教徒であったが、彼女の思想形成に大きな影響を及ぼした。

ロックフォード・カレッジ卒業、フィラデルフィア女子医大中退後、心身ともに衰弱し、長いモラトリアム生活を経験した。この苦悩から抜け出すためのヨーロッパ外遊中に、セツルメントの構想を抱き、トインビー・ホールの影響を受け、親友のエレン・スター(Ellen Gates Starr)とともに、シカゴのスラム街に**ハル・ハウス(Hull-House)**というセツルメントを創設した。

## クエーカーとは何か

- キリスト教の一派 マイノリティ 迫害
- フィラデルフィア
- 平和主義
- 良心 内なる光
- 新渡戸稲造

## Jane Addamsの概略(2)

- そこで当初、地域教育的なプログラムを展開したが、やがて近代産業都市特有の社会問題に気づき、その解決に向けた社会改良運動を展開した。なかでも児童福祉領域の児童保護労働の運動、児童公園創設、移民の生活支援は有名である。
- 1910年には、女性として初めて全米慈善・矯正会議(NCCC)の会長に選出され、当時のアメリカの社会福祉界において、もっとも影響力をもつ人物となった。

## Jane Addams 概略(3)

- しかし1917年にアメリカが第一次世界大戦の参戦に猛反対したのを契機に、「もっとも危険な女性」というレッテルを貼られ公的立場を失った。以後、主として社会福祉界から退き、平和運動と女性運動に勢力的に取り組むことになった。社会福祉界は、時ちよつと、リッチモンドの『社会診断』(Social Diagnosis)が出版され、ソーシャルワークの専門性という新たな局面を迎えた時であった。
- 多くの著作を残したが、主著『ハル・ハウスの20年』(Twenty Years at Hull-House)は、日本語をはじめ多くの言語に翻訳されている。その他、The Spirit of Youth and the City Streets(1909)、Democracy and Social Ethics(1902)は、社会福祉学、社会学の古典として今も研究者に親しまれている。
- 1931年にノーベル平和賞受賞。1935年に社会保障法が成立したその年に永眠。ある歴史家は、これを彼女の遺産であるといった

### アメリカのセツルメント運動の展開

- セツルメントとは？（住み込むこと）共にあること（トインビー・ホールの影響）
- 「居場所」を求める互いの心
- 1886年 スタントン・コイツ(Stanton Coit)、
- ネイバーフッド・ギルド(Neighborhood Guild)設立
- 
- 1889年 ジェーン・アダムズ(Jane Addams, 1860-1935)
- シカゴにハル・ハウス(Hull-House)創設
- cf; 労役場 雑居「ゴミ捨て場」

### ハル・ハウスの活動

- 児童福祉** 保育園、幼稚園、児童公園、児童の キャンプ活動、 児童労働禁止 母親年金運動
- 労働問題** 児童・婦人の長時間労働の禁止、
- 移民問題の解決** 移民の主体性 アメリカ化への抵抗運動
- 婦人参政権運動** 社会における女性の権利拡張

### セツルメント運動を支えた人々

#### 中上流階級知識人

- 大卒女性の最初の世代
- 聖職者、教師、政治家の代替？
- 社会福音派(ソーシャル・ゴスペル運動)

### アダムズとハル・ハウスの女性

エレン・ゲーツ・スター(Ellen Gates Starr, 1859-1940)

- フローレンス・ケリー(Florence Kelly, 1859-1932)
- ジュリア・ラスロップ(Julia Lathrop, 1858-1932)
- アリス・ハミルトン(Alice Hamilton, 1869-1970)
- エディス&グレイス・アボット(Edith & Grace Abbott, 1876-1957; 1878-1939)

### 現代の社会福祉、ソーシャルワークの影響

- 共に生きるということ
- 当事者性 対等性 パワーの問題
- 専門職、反専門職
- 居場所の思想
- ローカリティとグローバリゼーション
- 平和と福祉の関係性

### 書簡・日記にみるアダムズと日本の社会事業家の交流

- ①明治後期~大正前期 アダムズ思想との接触と受容  
村井知至 生江孝之 家庭学校グループ 留岡幸助他  
女性運動家(平塚雷鳥、市川房枝 矢島 林歌子 高良とみ他)
- ②1923年の来日の足跡をめぐって  
実証的検証(アメリカ側資料と日本に残された資料の照合)  
日本のみならずアダムズ像とアダムズの見た日本の社会福祉  
大正デモクラシー期の社会事業の転換に及ぼしたインパクト
- ③大正後期~昭和初期 アダムズ思想の研究と展開  
実践を通じた密接な交流: 山室民子 賀川豊彦  
研究者のアダムズ研究: 大林宗嗣 海野幸徳
- ④第二次大戦以降におけるアダムズ研究の動向とその意味  
ジャッドソンの児童本! ?  
柴田善守 その他領域  
戦後本質論争とアダムズ研究

## Selected Bibliography

木原浩信『J.アダムズの社会福祉実践思想の研究』川島書店1998

木原浩信『ジェーン・アダムズ』大空社1999

Addams, Jane. An extensive collection of Miss Addams' papers is deposited in the Swarthmore College Peace Collection, Swarthmore, Pennsylvania.

Addams, Jane, *A Centennial Reader*, ed. by E. C. Johnson, with a prefatory note on Jane Addams' life by W. L. Neumann and an introduction by William O. Douglas. New York, Macmillan, 1960.

Addams, Jane, *Democracy and Social Ethics*. New York, Macmillan, 1902. Republished with an introductory life of Jane Addams by A. F. Scott. Cambridge, Mass., Harvard University Press, 1964.

Addams, Jane, *The Excellent Becomes the Permanent*. New York, Macmillan, 1932.

Addams, Jane, *The Long Road of Woman's Memory*. New York, Macmillan, 1916.

Addams, Jane, *Newer Ideals of Peace*. New York, Macmillan, 1907.

Addams, Jane, *Peace and Bread in Time of War*. New York, Macmillan, 1922. Addams, Jane, *The Second Twenty Years at Hull-House: September 1909 to September 1929*. New York, Macmillan, 1930.

Addams, Jane, *The Spirit of Youth and the City Streets*. New York, Macmillan, 1909.

Addams, Jane, *Twenty Years at Hull-House: With Autobiographical Notes*. New York, Macmillan, 1910. Curti, Merle. «Jane Addams on Human Nature», *Journal of the History of Ideas*, 22 (April-June, 1961) 240-253.

Farrell, John C., *Beloved Lady: A History of Jane Addams' Ideas on Reform and Peace*. Baltimore, Johns Hopkins Press, 1967. Contains a major bibliography.

Lasch, Christopher, *The New Radicalism in America, 1889-1963: The Intellectual as a Social Type*. London, Chatto & Windus, 1966. Linn, James W., *Jane Addams: A Biography*. New York, Appleton-Century, 1935.

Time, Margaret, *Jane Addams of Hull-House, 1860-1935*. London, Allen & Unwin, 1964.

## 応用問題：良心への批判的考察

- 慈善と偽善
- フロイトの場合  
自我の抑圧の概念
- 愛することができるのか